

第7号

皆様と真寿園をつなぐ広報誌



アットホーム

@ h o m e

INDEX

平成19年真寿会の基本方針と今年のテーマ… P1 ユキちゃん日記・ボランティア募集のお知らせ… P6
ある日ある時 思い出の写真館… P2~P4 生活相談員よりのお知らせ・編集後記
JVSのコンサートと義援金の御礼ほか… P5

●平成19年度 真寿会の基本方針

設立理念「老人にも明日がある」

●今年のテーマ

「ありがとう その一言に ありがとう」

理事長 斉藤 正身

明けましておめでとうございます。

今年は法人事業として3月にケアセンター川鶴のオープンを予定しており、この事業は真正会の診療所を受け継ぎ、形を変えて地域に貢献する重要な事業と位置づけています。法人にとっても真寿園を中心にしたサテライト構想の一環ですが、私たちにとっては新たな取り組みであり、更に地域の方々に信頼されるサービスを育てて行きます。

さて、今年のテーマである「ありがとう その一言に ありがとう」と「働く(はたらく)とは傍(はた)を楽(らく)にする」という考え方を一年を通して具現化することが、最も重要な「事業」だと考えています。

「ありがとう」という言葉が持っている人と人をつなぐ力を大切にして、そして創始者である会長がいつも職場に求めている「オン・ステージ・マインド」というプロフェッショナルの心構えです。この考えは専門家集団としての心構えというより、どんなときにも平静で、どんな相手に対しても穏やかな対応ができる心(マインド)を求めて提唱してきたことです。お互いの立場を認め、働きやすい職場環境を作っていくことが、利用者の皆様にとって有益な結果をもたらすものと確信しています。今年もチーム一丸となって取り組みますので、よろしくお願い致します。

(真寿園屋上より平成19年1月1日撮影)

ある日ある時

思い出の写真館

♪月が～出た出た
月が出た出た～
ヨイヨイ～



サンタからの
プレゼント！何かな？



ちょっと早いク
いつも素敵な笑



民舞

太鼓の音頭に合わせて
ボランティアさんと
一緒に踊ります



おせち



【昼食】
お雑煮、煮豆、栗きんとん、
二色なます、かまぼこ、数の子、
八頭の煮付け、みかん



【夕食】
ちらし寿司、やわらかエビのおかか和え、
昆布巻き、伊達巻き、豆きんとん、
ブロッコリーサラダ、
清し汁(そうめん、あさつき)

菓子屋横丁へ

川越・菓子屋横丁へ外出。
昔懐かしい町並みで
馴染みの駄菓子を
沢山買いました



クリスマス

クリスマスプレゼント！
顔をありがとう！



クリスマスツリーに飾りをつけました。
クリスマスが待ち遠しいね



キャンドルにあかりを灯します！

お正月

今年も楽しい1年でありますように

お屠蘇で
新年を
お祝いします



上手く決まったでしょう



初詣

今年も健康でありますように

今年も良い年でありますように



地域感謝祭

プリンおいしかったよ



バンド熱演、
太鼓の熱演で
盛り上がる
ふれあいステージ



お見事、お見事！
マグロの解体ショーだ！



バザー会場の賑わい



フリーマーケットの賑わい



本格的なライブに 入居者さんは大喜び!



JVSのメンバーの皆様

JVS (ジョイフル ボイス スクール)

プロシンガー中森尋美氏が率いるゴスペル・JAZZ・R&B・POPSなどを中心に活動されているグループです。JVSはこれまでも市区町村のイベントや社会福祉法人施設での活動などを積極的に行われ、老若男女問わず多くの方から支持されているグループです。

昨年10月にJVSのライブが行われました。JVSのライブには大勢の方が集まれて、会場に入りきれず廊下まで行列が出来るほどの盛況でした。JVSのライブはお得意のゴスペルソングにはじまり、さまざまな歌は美しいハーモニーを聴かせて、会場の人々をすっかり魅了しました。ライブはアツと言う間に過ぎてゆき、本当に楽しい1時間のライブでした。JVSの皆さんありがとうございました。



今年も暖かなお心とたくさんの方の義援金をありがとうございました。

ドイツ国際平和村は、1967年7月6日、ドイツ市民の手によって紛争地域や危機に瀕した地域の子どもたちを助けるために設立されました。紛争や貧困の犠牲となったこの子どもたちは、今このときも、私たちの援助を待っています。設立以来、平和村の活動はどんどんと広がっていきました。その活動の中心にはいつも子どもたちがいます。平和村の活動は、まず、子どもたちの治療をヨーロッパで行うことからはじまりました。そして、子どもたちが母国で治療できるようになることを目指し、今では沢山のプロジェクトが危機的な状況にある様々な国で行われています。それでも医療ケアのためにヨーロッパまでやってこなければならぬ子どもは沢山います。



【ドイツ国際平和村の3つの活動】

- ・母国で治療を受ける事が出来ない重傷や重病の子供たちの治療をヨーロッパで行っています。
- ・現地の医療状況の向上を目指したプロジェクト活動を行っています。
- ・平和への関心を高める為の平和教育活動を行っています。

この3つを柱として、ドイツ国際平和村は平和のための活動を続けています。興味、関心をお持ちになられた方は是非ホームページをご覧ください。

●<http://japan.friedensdorf.de/>

ゆきちゃん 日記



あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

新しい年を迎え「ゆき」
もますます元気に過
ごしています。

最近では「お手!」、「お
座り!」、「伏せ!」なども
出来るようになり、「ゆき」の

周りは利用者様、家族様と、真寿園を訪れる方の憩い
の場になりつつあります。2005年2月10日生まれの
「ゆき」は2歳になりました。

上の写真は昨年利用者様にお祝いをして頂いた時の
記念写真です。

今年も皆さんに愛させる「ゆき」でありますように。

編 集 後 記

今年は暖冬と言われていますが、やはり寒さは厳しく、
布団から出るのが億劫な時期となりました。しかし
ながら、澄んだ空気の中聳える山々はとても美しく、
早起きをした朝は少し得した気分になるものです。
さて、年も明け、皆様も新たな気持ちで出発できまし
たでしょうか? 毎年今年の抱負を胸に新年を迎え
ますが、完璧に達成できないまま1年を終えてしまっ
ている自分です。先日こんなことがありました。風
邪で寝込んでいる私に祖母がある本を持ってきて、
「これ面白いから読んでみる? 今、読んでいる途中
なんだけどおかしいの! 私は笑う事が好きだから。」
と言ったのです。また、別の日には、私が帰宅しテレビ
を見て笑っていると、「帰ってくると、笑い声が聞
こえていいわ」と。心温まる出来事であり今年の抱
負の中に「たくさん笑う」と、一つ増えるきっかけと
もなったことでした。年の初めから悲しいニュース
が相次いでいますが、「笑う門には福来たる」とある
ように、皆様も笑い声の多い1年にして欲しいと思
います。今年も宜しく願い致します。

広報委員 大野

◆◆◆
編集員/小島定義・新井正道・望月孝紀・大野知穂
片岡芳美・綿貴智之・平山政浩・岡村紀孝
柴田 瞳・松平一憲・平島奈津美



ボランティア募集のお知らせ

真寿園では喫茶・話し相手・外出のお手伝い、
また園芸などの趣味・余暇活動のボランティアを
募集しています。(個人でもグループを作ったの
参加でもかまいません)

●問い合わせ: 真寿園 生活相談員 新井正道

生活相談員 よりお知らせ

入所相談、見学、お問い合わせ
は随時受け付けております。
詳しくは下記連絡先まで



発行/特別養護老人ホーム 真寿園
〒350-1173 埼玉県川越市安比奈新田292-1

TEL.049-234-8838

FAX.049-234-8839

制作/広報委員会

Web; www.shinjukai.or.jp

Mail; info@shinjukai.or.jp